

「WTOとEPA」セミナー — 登壇者プロフィール —

コーディネーター

●横田 淳（よこた じゅん） 外務省国際貿易・経済担当大使

1971年東京大学法学部第三類中退。同年外務省入省。在ジュネーブ日本政府代表部公使、大臣官房審議官兼経済局、文化交流部長、在香港日本国総領事、在イスラエル国日本国大使などを経て、2006年9月から現職。

第1セッション WTOの意義とドーハ・ラウンドの行方 パネリスト

●小寺 彰（こてら あきら） 東京大学大学院総合文化研究科教授

1976年東京大学法学部卒。同年、助手。東京都立大学教授などを経て、1995年から現職。1996-1999年には、WTO補助金相殺措置専門部会委員を務める。

主要著書に、『転換期のWTO』（編著、東洋経済新報社、2003年）、『WTO体制の法構造』（東京大学出版会、2000年）など。

●佐久間 総一郎（さくま そういちろう）新日本製鐵株式会社総務部法規担当部長

1978年東京大学法学部卒。同社法規部門にて、20年以上にわたってWTO案件を含む通商問題、外国投資案件等を担当。産業構造審議会臨時委員（WTO部会不公正貿易政策・措置調査小委員会）。1986-1989年には、OECD科学技術工業局にて勤務。

●米谷 三以（こめたに かずもち） 西村ときわ法律事務所弁護士

1987年東京大学法学部卒業。1989年弁護士登録。1996年ミシガン大学ロースクール卒業。米国法律事務所勤務、WTO法律部法務官、経済産業省通商法務調整官などを経て、2003年から現職。2004年からは法政大学法科大学院教授も務める。

主な業務分野は、アンチダンピング関税・輸出管理法規など通商法、WTOなどにおける国際経済紛争解決手続。

●宇山 智哉（うやま ともちか） 外務省経済局国際貿易課長

1986年一橋大学法学部卒業。同年外務省入省。1987-1989年には米国にて研修。その後、通商産業省勤務、ジュネーブ国際機関日本政府代表部一等書記官、経済局サービス貿易室長などを経て、2006年11月から現職。

第2セッション E P A / F T A の成果と今後の方向性
パネリスト

- 大川 三千男（おおかわ みちお） 日本経済団体連合会
アジア・大洋州地域委員会企画部会長
東レ顧問

1963年東京大学経済学部経済学科卒。同年東洋レーヨン（現・東レ）株式会社入社。同社常務理事・株式会社東レ経営研究所取締役副社長を経て、2002年から現職。

- 鈴木 宣弘（すずき のぶひろ） 東京大学大学院農学生命科学研究科教授

1982年東京大学農学部卒。九州大学農学部助教授、教授を経て2006年9月から現職。夏期はコーネル大学客員教授も兼務。日韓・日チリF T A の産官学共同研究会委員を務め、小泉内閣のE P A 国民対話（東京・鹿児島）にも登壇。日本学会議連携会員。

主要著書に、『F T A と食料－評価の倫理と分析枠組』（筑波書房、2005年）、『F T A と日本の食料・農業』（筑波書房、2004年）など。

- 荒木 一郎（あらかし いちろう） 横浜国立大学大学院国際社会科学部教授

1983年東京大学法学部卒、同年通商産業省（現・経済産業省）入省。1988年カリフォルニア大学バークレー校法科大学院修了。W T O 事務局法務部法務官、経済産業研究所上席研究員などを経て、2005年4月から現職。

主要著書・論文に、『W T O 紛争解決手続における履行制度』（三省堂、2005年）、「東アジア経済関係における法的制度化の現状」（『法律時報』、2005年6月）など。

- 大鷹 正人（おおたか まさと） 外務省経済局経済連携課長

1986年東京大学経済学部経済学科卒業。同年外務省入省。経済局国際経済第二課、条約局国際協定課、国際連合日本政府代表部一等書記官、南東アジア経済連携協定交渉室長などを経て、2007年1月から現職。